



利根町老人クラブ連合会 主催
投げ大会が開催

新型コロナウイルス感染症が落ち着き、快晴で絶好のスポーツ日和となった昨年11月25日、利根浄化センターの多目的広場にて、輪投げ大会が開催されました。

当日は総勢152名38チームが集結し、目指せ優勝！を掲げ白熱したプレイを展開していました。優勝から3位までがわずか数点差というまさに接戦となった今回の大会、見事制したのは布川台クラブAチームでした。

また、長年にわたり老人クラブ活動に尽力された方々の功績をたたえ、永年勤続の賞状と記念品の授与式も併せて行いました。



▲優勝した布川台Aチームの皆さん



▲永年勤続賞を受賞された皆さん

利根町剣友会
年剣道教育奨励賞



昨年11月3日、利根町剣友会が、永年にわたり少年少女の剣道指導を行い、学校教育ならびに地域社会向上に貢献したと評価され、全日本剣道連盟より「少年剣道教育奨励賞」を受賞しました。

なお、この賞を利根町剣友会が受賞するのは平成19年度に続き2回目になります。

利根町剣友会では、毎週水曜日（午後7時～8時）・土曜日（午後6時～8時）利根中学校武道場にて活動しています。お気軽にお越しください。

利根町内小中学校
「レンジサミットTONE」開催



昨年11月29日、「レンジサミットTONE」が開催されました。各校代表者が利根中学校体育館に集い、より楽しくより気持ちよく過ごすための取組について、各校の実践発表がありました。会場と各校の教室をオンラインでつなぎ、映像と音声を通して町内の小中学生全員が参加しました。学校、学年は違っても、小学生、中学生、教職員、全員が心と心でつながる学校・町を目指して、将来の利根町を盛り上げて行ってほしいです。

長年にわたり、更生保護に尽力
生保護功労者を表彰

全国保護司連盟理事長表彰



会田 瑞穂さん

関東地方保護司連盟会長表彰



土屋 光子さん

犯罪や非行をした人たちに対し、社会の中で立ち直りに向けた指導や支援などを行うことにより、その再犯を防ぎ、社会復帰と自立を助ける更生保護に尽力した功労者が表彰されました。

取手地区保護司会（利根支部）の保護司 会田瑞穂さんが全国保護司連盟理事長表彰を、土屋光子さんが関東地方保護司連盟会長表彰を受賞されました。

第12回
川一茶俳句大会

昨年11月25日、29日、徳満寺に於いて「第12回布川一茶俳句大会」の展示会が行われました。例年、この時期に表彰式と当日俳句大会を実施していましたが、昨年同様今年も「新型コロナウイルス」の影響により「展示会」のみ行いました。

選者 馬酔木同人 神宮きよい先生

事前投句(小・中学生の部) 敬称略	一茶句会賞	新しい教科書を繰る春の風	利根中二年 志村 実桜
町長賞	鈴虫とぼくのりコーダー鳴りひびく	布川小六年 矢口 巧真	
教育長賞	コスモスは風の友達通学路	文小五年 小野寺瑠星	
徳満寺賞	ふとみるとしようじのあなに天の川	文間小五年 中村 蓮	
事前投句(一般の部) 敬称略	一茶句会賞	老いしこと互いにふれず無汁	利根町 石川 陽子
町長賞	すれちがう人のぬくもりこぼれ萩	印西市 吉田 弘子	
教育長賞	スマホ手に雲追いかけて暮れの秋	利根町 金井 きく江	
徳満寺賞	病む夫の心つかめぬ秋思かな	利根町 池末 和子	
特選	子の名まで忘れし姉と花野ゆく	利根町 大野 三枝子	
	「宮角力」一茶の句碑に木の実落つ	利根町 長田 輝男	
	をさな兒と婆とじゃんけん菊日和	利根町 前田 三枝子	
	十三夜余韻残して本を閉つ	利根町 水野 厚子	
	枝刈りて軍手の穴も日向ぼこ	利根町 川村 まさこ	
	軽トラに稲の香まとふ犬乗せて	利根町 伊藤 幸子	
	跡継ぎの無きは覚悟や栗を剥く	利根町 大野 英二	
	とどきたる妻の新車や金木犀	利根町 龍ヶ崎市 宮本 八奈	
	病むことも生きる証や秋拾	利根町 龍ヶ崎南高 平塚 利雄	
	乾いてる落ち葉の声を踏みつけて	利根町 石山 京真郎	

利根町の俳句豆知識

突然ですが西楽院という建物をご存じでしょうか。内宿集会所というとお分かりの方が多いと思います。

溝口素丸という人が、安永八年(一七七九)に著した『歳旦帖』(※1)に「予此海珠山下の院室に月ことの会庭をもうけ近隣の同門とたのしむ」とあります。溝口素丸は御書院番(※2)を務める傍ら江戸でも有名な俳人です。俳句を学んだ一人です。



徳満寺下の西楽院

つまり、一茶が布川に来る十八年前には、徳満寺下の西楽院(内宿集会所)で、布川周辺の人たち四十人余りに、毎月江戸から来て俳句を教えていたのです。

一茶が布川に来たことが『寛政三年紀行』(一七九一年)に書いてありますが、すでに同門の俳人たちが、布川近隣に多く住んでいたため、気軽に布川に来ることが出来たとはいえるでしょう。

そのように考えると、西楽院が今も残っていることは利根町の誇りと言っても良いのではないのでしょうか。

※1 歳旦帖：俳諧の宗匠などが、毎年、年頭に当たって一門の俳句を集めて出版したものと
※2 御書院番：徳川将軍の馬廻衆(親衛隊)として高い格式を持つ旗本



▲選者(神宮先生)を囲んで



町政の発展に貢献
日单光章を受章



元利根町議会議員で、10月13日に逝去された、故伊藤 利夫氏(74歳)に、「旭日单光章(死亡叙勲)」が贈られました。

伊藤氏は、昭和62年4月、利根町議会議員に就任し、5期20年の永きにわたり在職され、利根町議会において文部常任委員長や総務常任委員長、利根町議会副議長を歴任されました。副議長在職時には、議会の調和を図りながら「是を是とし、非を非とする」姿勢を貫き、公正な議会運営に努め、地方自治の発展および住民福祉の向上に大きく貢献されました。

このたびは、長年のご功績がたたえられ、受章となりました。

※死亡叙勲とは
叙勲の形態の一つで、未だ叙勲されていない功労者が亡くなった場合に、勲章を授与されるものです。